

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人鳥取県共同募金会

令和元年度 事業報告書

目 次

【事業実施方針】	1
1 適切な組織運営	
(1) 役員会等の開催	
ア 評議員会の開催	1
イ 理事会の開催	2
ウ 配分委員会の開催	3
エ 監事会の開催	3
オ 評議員選任・解任委員会の設置および開催	3
(2) 中央、ブロック会議等への参加	4
(3) 市町村共同募金委員会との連携	
ア 担当者会議の開催	4
イ 募金運動資材の調達	5
2 共同募金活動の推進	
(1) 募金目標額の設定と募金実績	6
(2) 一般募金の推進	6
(3) 募金運動の期間拡大の取組み（使途選択募金助成）	6
(4) ふるさとサポート募金の取組み	7
(5) 税制上の優遇措置の取扱い	7
3 寄付金の助成	
(1) 助成決定	8
(2) 歳末たすけあい運動	
ア 地域歳末たすけあい運動	8
イ 第69回NHK歳末たすけあい運動	8
(3) 使途選択募金助成（再掲）	9
(4) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い	
ア ハンセン病療養所の訪問（岡山県）	9
イ 見舞金の贈呈	9
(5) 災害見舞金の交付	9
(6) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況	10
(7) 共同募金以外の寄付による助成	10
(8) 助成事業の調査	11

4	広報・啓発活動の推進	
(1)	初日行事・赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式の実施	11
(2)	街頭募金の実施	11
(3)	ガイナレ鳥取ホームゲームにおける周知	11
(4)	県立福祉人材研修センター利用促進イベントにおける周知	11
(5)	「募金ボランティアの手引き」の作成	12
(6)	戸別配布用チラシの作成	12
(7)	報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供	12
(8)	地方新聞紙面への広告掲載	12
(9)	赤い羽根データベース「はねっと」の活用	12
(10)	助成公表の徹底	12
(11)	その他	12
5	企業との連携強化	
(1)	自動販売機を活用した募金寄付	
ア	自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置	13
イ	「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置	13
(2)	赤い羽根タイアップ商品（寄付付き商品）	13
(3)	募金箱の設置協力	13
6	災害等準備金及び災害たすけあい運動	
(1)	災害等準備金の運営	
ア	災害等準備金積立状況	13
イ	令和元年台風19号災害に係る災害等準備金の拠出	13
(2)	義援金の取り次ぎと送金	14
7	顕彰事業	
(1)	県知事表彰	14
(2)	県共同募金会会長表彰	14
8	民間資金助成事業への協力	
(1)	(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦	14
9	調査研究の実施	15

【事業実施方針】

募金については、一般募金の約8割を占める戸別募金について引き続きこの取り組みを維持しつつ、募金の増額を図るため福祉団体が寄付者に使途を直接訴えることにより、地域の福祉課題を解決する「使途選択募金」に取り組んだ。

助成については、社会的孤立の解消や生活困窮者等への支援を進めるため、全国共通助成テーマの推進を図るとともに、地域の福祉ニーズに基づいた事業を積極的に計画した。

また、鳥取県中部地震災害などの突発的な災害に備えるための災害等準備金制度の周知及び災害発生時に的確に対応するための災害支援制度の研修等を行った。

広報啓発については、募金目的や助成内容を住民にわかりやすく公表し、募金運動に対する住民の理解と参加を促進するとともに、地域の福祉課題の解決に向け、市町村共同募金委員会と本会が連携・協力ながら事業を実施した。

なお、現下の新型コロナウイルスの感染拡大防止の影響について、中央共募及び各県共募と連携しながら分析し、今後の活動にあたっては、適切に対応することが必要である。

1 適切な組織運営

県民に対する説明責任を果たし地域社会に貢献する法人として、積極的に情報の提供・公開を行い、事業運営の透明性の確保、適正な会務の運営に努めた。

また、県福祉監査指導課が行う法人指導監査に積極的に協力し、改善を求められた事項についても速やかに対応するとともに、その結果について理事会・評議委員会に報告し組織としてのガバナンスの強化に努めた。

(1) 役員会等の開催

ア 評議委員会の開催

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第 205 回 令和元年 6 月 25 日 福祉人材研修センター 出席 評議員 19 名 監 事 1 名	1 平成 30 年度事業報告（案）及び決算（案）について 2 任期満了に伴う次期役員の選任について 3 配分委員の選任について	原案のとおり承認 原案のとおり選任 〃
第 206 回 令和元年 7 月 26 日 福祉人材研修センター 出席 評議員 18 名 監 事 2 名	1 令和元年度共同募金助成計画（案）について 2 令和元年度共同募金目標額（案）について 3 令和元年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領（案）について 4 災害等準備金積立金取崩し金助成計画（案）について	原案のとおり承認 〃 〃 〃
第 207 回 令和 2 年 3 月 23 日 福祉人材研修センター 出席 評議員 19 名 監 事 0 名	1 令和元年度共同募金助成決定（案）について 2 令和元年度補正予算（案）について 3 令和 2 年度事業計画（案）及び予算（案）について 4 理事の補欠選任について 5 配分委員会委員の補欠選任について	原案のとおり承認 〃 〃 原案のとおり選任 〃

イ 理事会の開催

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第 270 回 令和元年 6 月 10 日 福祉人材研修センター 出席 理事 12 名 監事 1 名	1 平成 30 年度事業報告書（案）並びに決算（案）について 2 令和元年度定時評議員会の開催について 3 経理規程の改正について 4 次期役員候補者について 5 評議員の後任候補者の選任について 6 配分委員会委員の選任について 7 鳥取県共同募金会長並びに感謝の受賞者について	原案のとおり承認 〃 〃 〃 原案のとおり選任 〃 原案のとおり承認
令和元年 6 月 24 日 （書面決議）	1 理事後任候補者の推薦について	原案のとおり承認
第 271 回 令和元年 6 月 26 日 福祉人材研修センター 出席 理事 11 名 監事 1 名	1 正副会長及び常務理事の選任について 2 評議員の後任候補者の推薦について	原案のとおり選任 原案のとおり承認
第 272 回 令和元年 7 月 19 日 福祉人材研修センター 出席 理事 12 名 監事 1 名	1 令和元年度共同募金助成計画（案）について 2 令和元年度共同募金目標額（案）について 3 令和年度「つかいみちを選べる募金」助成事業取扱要領（案）について 4 災害等準備金積立金取崩し金助成事業（案）について 5 第 206 回評議員会の開催について	原案のとおり承認 〃 〃 〃 〃
第 273 回 令和 2 年 3 月 13 日 福祉人材研修センター 出席 理事 14 名 監事 1 名	1 令和元年度共同募金助成決定（案）について 2 令和元年度補正予算（案）について 3 令和 2 年度事業計画（案）及び予算（案）について 4 評議員会の開催について 5 諸規程の制定並びに改正について 6 共同募金会向け財務会計・業務システム更新について 7 配分委員会委員の選任について	原案のとおり承認 〃 〃 〃 〃 〃 原案のとおり選任

ウ 配分委員会の開催

開催日時等	審 議 事 項	結 果
第1回 令和元年7月5日 福祉人材研修センター 出席 委員9名	1 正副委員長の選任について 2 令和元年度共同募金助成計画(案)及び助成計画に基づく目標額(案)について 3 令和元年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦について 4 令和元年度つかいみちを選べる募金助成事業について 5 災害等準備金積立金取崩し金助成事業(案)について 6 令和元年度NHK歳末たすけあいスケジュールについて	原案のとおり選任 原案のとおり承認 6事業を推薦決定 原案のとおり承認 " "
令和元年9月19日 ～20日 出席 委員9名	令和元年度NHK歳末たすけあい助成に係る申請施設実態調査	9施設を訪問・調査
第2回 令和元年10月16日 倉吉体育文化会館 出席 委員7名	1 令和元年度「つかいみちを選べる募金」助成事業について 2 令和元年度NHK歳末たすけあい助成申請事業について	5団体を承認 15団体を承認
第3回 令和2年3月6日 福祉人材研修センター 出席 委員7名	令和元年度共同募金助成決定(案)について	原案のとおり承認

エ 監事会の開催

開催日時等	監 査 事 項	結 果
令和元年5月28日 福祉人材研修センター 出席 監事2名	1 平成30年度業務及び予算の執行状況 2 平成30年度末における資産の状況	指摘事項なし 純資産の状況 53,803,682円

オ 評議員選任・解任委員会の設置および開催

開催日時等	審 議 事 項	結 果
平成30年6月20日 (書面決議)	評議員の選任について 選任した評議員 5名	原案のとおり選任
令和元年7月19日 (書面決議)	評議員の選任について 選任した評議員 2名	原案のとおり選任

(2) 中央、ブロック会議等への参加

共同募金運動の一層の円滑な運営を図るため、中央および中四国ブロック等の会議へ出席し、情報共有、意見交換に努めた。

会 議 ・ 研 修		期 日	開催地	出席者
中央会議	・中央共募第184回評議員会	6月24日	東京都	1名
	・中央共募第185回評議員会 書面決議	3月5日	東京都	1名
	・都道府県共募常務理事・事務局長会議	7月9・10日	東京都	1名
	・都道府県共募常務理事・事務局長会議	2月10日	東京都	1名
	・都道府県共同募金会職員研修会	4月22・23日	東京都	1名
	・都道府県共同募金会職員研修会	11月14・15日	東京都	1名
ブロック会議	・中四国ブロック県共募常務・事務局長会議	11月29・30日	広島県	1名
	・中四国ブロック県共同募金会職員会議	8月1・2日	鳥取県	3名
その他	・赤い羽根データベース「はねっと」新システム説明会	4月9日	東京都	1名
	・第9回赤い羽根全国ミーティング	5月30・31日	山口県	5名

(3) 市町村共同募金委員会との連携

ア 担当者会議の開催

<第1回>

期 日 令和元年8月27日

場 所 倉吉市・倉吉上井公民館

出席者数 19市町村・20名

内 容 事業方針

- ・令和元年度共同募金運動実施について
- ・令和元年度共同募金助成計画・目標額について
- ・70年答申に基づく実行計画の策定について

事務説明

- ・災害等準備金の取扱い
- ・「つかいみちを選べる募金」助成事業について
- ・会計について
- ・はねっと入力について
- ・運動資材について

報告事項

- ・会長表彰及び感謝の受賞者について
- ・第9回赤い羽根全国ミーティング in 山口参加報告

意見交換

- ・運動資材の種類について

研修会

- ・講演 「地域福祉計画と共同募金助成について」

講師 中央共同募金会運動推進部副部長 及川 卓也 氏

<第2回>

期 日 令和2年2月19日
 場 所 倉吉市・倉吉市上井公民館
 出席者数 17市町村・20名
 内 容 事務説明

- ・共同募金委員会役員の委嘱について
- ・令和元年度の募金実績・助成決定(案)について
- ・令和元年度決算関係に係る事項について
- ・会計処理について
- ・運動資材について
- ・データベース「はねっと」への精算入力について

意見交換

- ・即時、柔軟に対応できる事業申請について

研修会

- ・講演 「役職員一体となった新たな募金手法への挑戦」

講師 島根県雲南市共同募金委員会 センター長 和田 仁 氏

イ 募金運動資材の調達

募金運動資材を次のとおり作成・購入し、運動の効果的な実施を図った。

資 材 名	単価 (円)	数 量	資 材 名	単価 (円)	数 量
赤い羽根シール式 (広島版)	32	12,800シート	ボールペン	65	2,825本
新ありがとうステッカー	5.4	6,434シート	図書カード	590	234枚
赤い羽根ステッカー	0.48	4,919	クオカード	604	336枚
募金バッジ (タイタック)	97	4,100個	プレミアム赤い羽根バッジ	515	6個
募金バッジ (蝶ピン)	85	1,300個	のぼり旗セット	1,008	1個
ネクタイピン	230	50個	旗布	545	8枚
募金ボランティアの手引き	13.3	3,930部	募金箱(クリア)	1,350	34個
募金用封筒	4.5	38,050枚	盗難防止チェーン	230	20本
法人募金依頼状	7.9	1,980枚	募金箱(厚紙製)	350	20個
学校募金依頼状	43.0	180枚	エイトバンセット	58	300枚
募金ボランティア委嘱状	29	540枚	マグネットメモホルダー	76	25個
寄付者芳名簿	9.4	1,180枚	ペーパークリップ	79	10個
領収書	378	277冊	ポスターB全(初音ミク)	360	3枚
募金依頼(結果報告)チラシ	2.1	191,850部	ポスターB2(初音ミク)	80	14枚
赤い羽根バルーン	29,430	250個	ポスターB3縦(初音ミク)	65	22枚
ポスターB全(横)	72	33枚	ポスターB4(初音ミク)	80	9枚
ポスターB2(横)	26	165枚	クリアファイル(初音ミク)	80	76枚
ポスターB2(キャラクター)	26	246枚	組立式募金箱(初音ミク)	20	65枚
ポスターB3(縦)(横)	19	1,033枚	リーフレット(初音ミク)	23	2
ポスターB3(縦)(キャラクター)	19	428枚	しおり(初音ミク)	5	15
ポスターB3(横)(キャラクター)	24	8枚	ピンバッジ(初音ミク)	165	30個
企業向パンフレット	11	1,090部	ボールペン(初音ミク)	170	55本
基礎パンフレット	5	1,186部	付箋	188	500個
赤い羽根ブランドブック	11	12部	赤い羽根ストラップ		50本

資 材 名	単価 (円)	数 量	資 材 名	単価 (円)	数 量
ポスターB3 (縦)	19	150 枚	カットバン	38	1,900 個
壁新聞	29	399 枚	ポスターB2 (ハンﾄﾞリ)	80	2 枚
募金箱用チラシ	5	1,317 枚	ポスターB3 (ハンﾄﾞリ)	60	10 枚
新共同募金ハンドブック	300	12 冊	クリアファイル (ハンﾄﾞリ)	90	30 枚
学校募金ハンドブック	39	149 冊	ラバーストラップ A(戸山香澄)	235	8 個
子ども向けパンフレット	7	2,281 部	ラバーストラップ B((湊友希那)	235	8 個
子ども用ワッペン (ドラえもん)	15	9,016 個	ラバーストラップ C(弦巻こころ)	235	8 個
組立式募金箱 (ドラえもん)	9	3,957 枚	募金バッジ (中央作成)	90	150 個
募金箱用・鍵	290	1 個	職域向募金箱	88	168 個
スタンド式募金箱	13,730	1 個	街頭肩掛募金箱	1,600	25 個
募金箱用チェーン	265	11 個	共同募金と税制	11	201 部
赤い羽根ステッカー	17	205 枚	ロゴマーク缶バッジ	80	10 個
クリアファイル	55	537 枚	エコバック	200	13 枚
子ども用クリアファイル(ドラえもん)	60	105 枚	買物バッグ	463	171 枚

2 共同募金活動の推進

(1) 募金目標額の設定と募金実績

目標額を125,559,000円(前年対比2.4%減)として運動を展開し、戸別募金、法人募金等の方法により関係者並びにボランティア等の協力を得ながら実施した。

(単位:円)

種 別	目標額	実績額	達成率	前年度実績額
一般募金	101,091,000	97,884,571	96.8%	98,812,597
地域歳末たすけあい募金	21,668,000	21,711,500	100.2%	23,111,215
NHK歳末たすけあい	2,800,000	2,755,069	98.4%	2,396,809
計	125,559,000	122,351,140	97.4%	124,320,621

(2) 一般募金の推進

令和元年度募金目標額及び助成計画に基づいて「地域をつくる住民を応援する」地域福祉のための募金運動として展開し、中央共同募金会が主唱する全国共通助成テーマであり、現在課題となっている社会的孤立の解消に向けた募金活動への展開につなげるため、全国と協調して運動を推進した。

特に、市町村共同募金委員会での企業・会社訪問のほか、本会として金融機関7社を訪問し、法人募金の協力を呼びかけた。

全国共通助成テーマ 「地域から孤立をなくそう

～みんなが社会の一員として包み支え合うしくみづくり～

(3) 募金運動の期間拡大の取組み(使途選択募金助成)

平成元年9月3日付厚生労働省告示第101号により、共同募金の実施期間が全国一斉に6か月間と定められたことを受け、共同募金運動の推進と活性化のため、拡大された3か月の期間を、解決したい福祉課題を抱える団体が、本会と協働して課題解決の必要性を広く住民(寄付者)にアピールし、使いみちを選択し寄付をしていただく募金活動に取り組んだ。

【取組内容】

運動期間：令和2年1月1日～3月31日

実施団体：県・市町村域で福祉活動を目的とする非営利の団体

(単位：円)

団体名	募金事業名	目標額	実績額	助成額
(公社) とっとり被害者支援センター	犯罪被害者等支援事業	550,000	1,171,878	1,171,000
(特非) こども未来ネットワーク	子どもの笑顔発見プロジェクト2020	410,000	458,159	503,000
とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく”	こども食堂対象文化芸術体験事業	230,000	105,749	116,000
(特非) 鳥取社会生活サポートセンター	いじめ・非行・犯罪防止の標語募集	280,000	447,350	492,000
鳥取県腎友会	慢性腎臓病患者を増やさないための啓発活動	320,000	256,250	281,000
計		1,790,000	2,439,386	2,563,000

(4) ふるさとサポート募金の取組み

県外に在住する鳥取県出身者に対して、中央共同募金会と連携しインターネットを通じたクレジット決済による募金の呼びかけを行った。

(5) 税制上の優遇措置の取扱い

租税特別措置法施行令に基づく税額控除に係る証明書（鳥取県知事通知）

- ・証明有効期間 平成29年6月23日～平成34年6月22日まで

免税措置の周知

- ・募金ボランティアの手引きの作成 (3,930部)
- ・日本海新聞へ掲載 (令和元年9月27日)
- ・本会ホームページへ掲載

3 寄付金の助成

共同募金委員会の70%を地域助成枠として助成し、30%と本会の募金額を加えた額を広域助成枠として、助成計画に基づいて民間社会福祉施設や県域民間福祉団体に対し助成した。

(1) 助成決定

寄付金の助成は本会配分委員会に諮り、理事会並びに評議員会の承認を経て決定した。

(単位：円)

一般募金	広域助成 (福祉施設、県域団体、等)	32,851,345
	地域助成 (地域福祉活動、福祉施設、NPO、等)	65,033,226
	計	97,884,571
歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい助成	21,711,500
	NHK歳末たすけあい助成	2,755,069
	計	24,466,569
合 計		122,351,140

○一般募金広域助成の内訳：物品寄付による助成

(単位：円)

No.	寄付者	物品寄付	助成先	助成内容	助成額
1	アサヒ飲料(株) (東京都墨田区)	カルピ°スウォーター1ケース(470ml×15本入) @6,900×4ケース 三ツ矢サイダー1ケース(470ml×15本入) @3,360×4ケース 41,040円	(特非) 桔梗会 てらこやこども食堂 (鳥取市)	カルピ°スウォーター及び三ツ矢サイダー各2ケース 計 4ケース	20,520
			やらいや逢坂 こども食堂おうさか (大山町)	カルピ°スウォーター及び三ツ矢サイダー各2ケース 計 4ケース	20,520
2	有限会社本田商店 (島根県雲南市)	生パスタ麺 84ケース (1ケース24食入) 2,016食×@173 348,768円	児童養護施設 鳥取こども学園 青谷こども学園 因伯子供学園 米子聖園天使園 光徳子供学園	生パスタ麺 10ケース 240食 5ケース 120食 10ケース 240食 7ケース 168食 5ケース 120食	41,520 20,760 41,520 29,064 20,760
			母子生活支援施設 つくし 米子聖園コスモス 倉明園 ブルーインター のぞみ こども食堂 たちかわこどもクラブ 琴浦にっこにこ食堂	生パスタ麺 10ケース 240食 7ケース 168食 10ケース 240食 3ケース 72食 10ケース 240食 生パスタ麺 5ケース 120食 2ケース 48食	41,520 29,064 41,520 12,456 41,520 20,760 8,304

(2) 歳末たすけあい運動

地域・NHK歳末たすけあいの運動を12月1日から1ヵ月にわたって実施した。地域歳末たすけあい運動による寄付金の助成は、市町村ごとに、在宅対象者並びに歳末時期に実施される地域・在宅福祉サービス事業に助成し、また、NHK歳末たすけあい運動による助成については、施設利用者等の文化活動の充実のための事業等へ助成した。

ア 地域歳末たすけあい運動

市町共同募金委員会と市町社会福祉協議会等の団体が共催で12月31日まで実施し、これに支援・協力した。

実施市町：17市町共同募金委員会・社会福祉協議会

イ 第69回NHK歳末たすけあい運動

NHK、NHK厚生文化事業団、中央共同募金会が主催し、本会、NHK鳥取送局、各銀行・農協・漁協・郵便局、他が窓口となって、12月1日から12月25日までの間実施し、寄付金の受入を行った。

【助成式】

日 時：令和元年 12 月 26 日

会 場：県立福祉人材研修センター

出席者：被助成者代表 13 法人・団体 17 名、NHK鳥取放送局 3 名、本会 6 名

内 容：目録の贈呈、お礼の言葉、懇談

(3) 使途選択募金助成（再掲）

(単位：円)

団 体 名	募金事業名	目標額	実績額	助成額
(公社) とっとり被害者支援センター	犯罪被害者等支援事業	550,000	1,171,878	1,171,000
(特非) こども未来ネットワーク	子どもの笑顔発見プロジェクト 2020	410,000	458,159	503,000
とっとり子どもの居場所ネットワーク “えんたく”	こども食堂対象文化芸術体験事業	230,000	105,749	116,000
(特非) 鳥取社会生活サポートセンター	いじめ・非行・犯罪防止の標語募集	280,000	447,350	492,000
鳥取県腎友会	慢性腎臓病患者を増やさないための啓発活動	320,000	256,250	281,000
計		1,790,000	2,439,386	2,563,000

(4) 本県出身のハンセン病療養所入所者へのお見舞い**ア ハンセン病療養所の訪問（岡山県）**

期 日 令和元年 10 月 11 日

場 所 邑久光明園、長島愛生園

出席者 10 名（役員 1 名、配分委員 3 名、県社協 1 名、事務局 2 名）

内 容 面談、見舞金贈呈、納骨堂参拝、長島愛生園歴史館見学ほか

イ 見舞金の贈呈

贈 呈 先	本県出身者数	見舞金額（円）
長 島 愛 生 園（岡山県）	4 名	40,000
菊 池 恵 楓 園（熊本県）	1 名	10,000
栗 生 楽 泉 園（群馬県）	1 名	10,000
多 磨 全 生 園（東京都）	1 名	10,000
合 計	7 名	70,000

(5) 災害見舞金の交付

火災及び自然災害により住宅破損又は人的被害を被った県民に対し、市町村共同募金委員会を通じて見舞金を贈った。

(単位：円)

市町村	全 焼		半 焼		半 壊		死 亡		合 計	
鳥取市	1	20,000							1	20,000
米子市	1	20,000							1	20,000
倉吉市	3	60,000	2	40,000					5	100,000
境港市	4	80,000					1	10,000	5	90,000
岩美町	1	20,000							1	20,000
八頭町			1	20,000					1	20,000
智頭町	2	40,000							2	40,000
琴浦町	5	100,000	1	20,000			3	30,000	9	150,000
大山町	2	40,000	1	20,000					3	60,000
江府町	1	20,000							1	20,000
合 計	20	400,000	5	100,000			4	40,000	29	540,000

(6) 災害等準備金積立金取崩し金助成状況

「安心・安全なまちづくり支援事業助成」防犯ブザーの贈呈事業

共同募金創設60年を期して設定された全国共通配分テーマ「地域の安心・安全の暮らしを住民とともにつくる活動の支援」を継承し、「安心・安全なまちづくり支援事業助成」として、子ども達の防犯意識の芽生え・意識付けを目的に株式会社FM山陰と協働して鳥取県小学校長会、鳥取県特別支援学校長会へ防犯ブザー計4,951個を贈呈した。

◆贈呈式

今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため贈呈式は執り行わず、各市町村教育委員会を通じて配布した。

◆防犯ブザー 計4,941個

(内訳) 鳥取県小学校長会 4,892個

鳥取県特別支援学校長会 49個

◆事業助成費 1,185,150円

(7) 共同募金以外の寄付による助成

企業等から寄託された共同募金以外の寄付金の受入と助成を行った。

(単位：円)

No.	寄付者	寄付額	助成先	助成額	助成事業
1	アサヒ飲料(株) (東京都)	320,000	・(特非) 桔梗会 てらこやこども食堂 (鳥取市) ・やらいや逢坂 こども 食堂おうさか(大山町)	160,000 160,000	こども食堂運営 費助成

2	(株) 光琳グループ ホールディングス (鳥取市)	1,000,000	・鳥取こども学園	600,000	・オープンレンジ、洗濯機、エアコン、ベビー布団、ビーズクッション
			・青谷こども学園	400,000	・砂場新設事業

(8) 助成事業の調査

申請内容について直接現地においてヒアリングを行い、事業計画の必要性の確認、緊急性等の把握などに努めた。

現地調査：令和元年9月19日～20日

調査対象：NHK歳末たすけあい助成を要望する9団体

4 広報・啓発活動の推進

共同募金運動の趣旨の理解を得るため、開始にあたっての広報、寄付金の使途についての周知等、年間を通じて広報活動に努めた。

(1) 初日行事・赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式の実施（ANA全日本空輸協賛）

共同募金運動初日行事の一環として10月1日に、全日空の協賛による「赤い羽根空の第一便メッセージ伝達式」を鳥取砂丘コナン空港コナンホールで開催し、厚生労働大臣、中央共同募金会長のメッセージの伝達を受けた。鳥取県福祉保健部長をはじめ、行政、助成団体、社会福祉協議会等の協力を得て75名が参加して実施した。

(2) 街頭募金の実施

初日行事として、鳥取市共同募金委員会と共同し街頭募金をイオン鳥取北店・イオンモール鳥取北入口で実施するとともに、市町村共同募金委員会が中心となり県内15市町村70か所で街頭募金活動を実施した。

(3) ガイナーレ鳥取ホームゲームにおける周知

サッカーJ3 ガイナーレ鳥取とガンバ大阪U-23との試合会場において、ガイナーレ鳥取の選手とともに来場者に対して、赤い羽根共同募金運動の周知と募金への協力を呼び掛けた。

日時：令和元年10月13日（日）12時10分から15時まで

場所：とりぎんバードスタジアム

内容：街頭募金活動（12時10分から20分間）

大型ビジョンによる「共同募金」のPR動画の放映（ハーフタイム 15秒間）

来場者：約2,000名

(4) 県立福祉人材研修センター利用促進イベントにおける周知

県社協が主催する「みんなで支え愛フェスタ 2019」に出店し、来場者に対して赤い羽根共同募金運動の周知と募金への協力を呼び掛けた。

日時：令和元年11月2日（土）11時から15時まで

場所：県立福祉人材研修センター内 情報コーナー

内容：組み立て式募金箱製作、風船プレゼント

来場者：約100名

(5) 「募金ボランティアの手引き」の作成

地域での募金ボランティアに対し共同募金運動の趣旨、運営、組織、使いみち、税制上の優遇措置について理解促進のため、要点をまとめた手引きを作成し配布した。

作成部数 3, 930部

(6) 戸別配布用チラシの作成

「平成30年度共同募金結果報告・令和元年度募金依頼」チラシを作成し、県内各世帯に配布した。また、裏面に市町村共同募金委員会の募金計画、地域福祉事業助成金の使途状況を掲載し、募金運動の理解が一層進むよう努めた。

作成部数 191, 850部

(7) 報道機関へテレビ・ラジオスポット放映・放送の素材提供

中央共同募金会提供のビデオテープ等の広報資材を各報道機関へ提供するとともに、放映・放送の協力を依頼した。

報道機関 テレビ局7社、ラジオ局1社

(8) 地方新聞紙面への広告掲載

共同募金運動の普及、助成の公表並びに県民への幅広い呼びかけを行うため、地元紙・日本海新聞に広告を掲載した。

平成31年4月29日 平成29年度共同募金へのお礼並びに実績報告(全5段広告)

令和元年9月27日 新日本海新聞社の協力による協賛による広告掲載(全5段広告)

令和元年度共同募金運動への協力依頼

令和元年度共同募金目標額、平成30年度助成事業紹介など

(9) 赤い羽根データベース「はねっと」の活用

共同募金会助成金の活用事例や助成事業について、写真や受給者からの感謝のことばなどを掲載し、寄付者等に対する情報公開に努めた。

(10) 助成公表の徹底

被助成施設・団体に対してPR活動並びに運動への協力を要請するとともに、寄付金助成により事業を実施したことの公表及び表示の徹底に努めた。

- ・赤い羽根共同募金助成表示・周知について「助成表示要領」の配布
- ・赤い羽根シール等助成表示資材の配布

(11) その他

ホームページにおいて助成申請の案内、募金実績の報告、税制上の優遇措置など、最新の情報の公開・広報に努めた。

- ・県庁前電光掲示板への広報掲示
- ・県市町村社会福祉協議会発行の広報紙へ運動結果等を掲載
- ・啓発のためのイベント参加
- ・啓発用立て看板をより啓発活動に役立つよう更新し、街頭啓発活動等に活用
- ・共同募金暦年ポスターパネル等の貸出

5 企業との連携強化

(1) 自動販売機を活用した募金寄付

ア 自動販売機型募金箱「ハートフルベンダー」の設置

設置台数：5台（福祉人材研修センター、小波浜自治会、ダンクショップ倉吉市役所売店、ビーハート中海営業所、大山ガーデンプレイス）

募金実績：129,881円（平成30年11月～令和元年10月）

イ 「鳥取県共同募金会支援自動販売機」の設置(株式会社戸信)

売上げの一部が寄付となる共同募金会支援機能付き自動販売機を設置

設置台数：6台（鹿野町総合福祉センター、株式会社清水、倉吉福祉センター、稲葉山地区公民館、生涯学習センター）

募金実績：83,856円

(2) 赤い羽根タイアップ商品（寄付付き商品）

企業、消費者に無理なく社会貢献できる仕組みとして、赤い羽根のロゴマークを使用した寄付付き商品の購入による寄付を推進した。

東伯ガス産業株式会社（琴浦町共同募金委員会と覚書締結：平成26年10月1日）

へいせい（株）が製造する「鳥取県名産あご入り鰹ふりだし」の収益金の一部を寄付
実績 10,000円

鳥取東伯ミート株式会社（琴浦町共同募金委員会と覚書締結：平成30年10月1日）

鳥取東伯ミート（株）が製造する「ウインナー」の収益金の一部を寄付
実績 10,000円

(3) 募金箱の設置協力

募金箱の設置及び共同募金の広報の協力を依頼した。

(単位：円)

協力企業名	金額
有限会社ノバ・テクニカルピット	4,520
全日本空輸株式会社米子空港所	1,056
ANAFESTA株式会社鳥取店	1,495
ANAFESTA株式会社米子店	1,497
計	8,568

6 災害等準備金及び災害たすけあい運動

(1) 災害等準備金の運営

募金実績の3%を3年間積み立て、災害救助法が適用される大規模災害の発生に対応した。

ア 災害等準備金積立状況

令和元年度積立額 3,660,000円

令和元年度末総積立額 12,250,000円(平成28～令和元年度積立分)

イ 令和元年台風19号災害に係る災害等準備金の拠出

特に被害が甚大であった宮城県、福島県、栃木県、長野県の被災地におけるボランティアセンター立上げ等の経費として下記の災害等準備金積立金を取り崩して拠出した。

令和元年11月25日

2,620,000円（平成28年度積立分の10分の7相当額）

(2) 義援金の取り次ぎと送金

地震等の自然災害による義援金の募集に応じて、市町村共同募金委員会及び本会において、義援金を取りまとめ被災県へ送金を行った。

(単位：円)

義 援 金 名	金 額
熊本地震災害義援金	7,597
平成30年北海道胆振東部地震災害義援金	8,455
平成30年7月広島県豪雨災害義援金	681
愛媛県豪雨災害義援金	1,500
平成30年7月豪雨岡山県災害義援金	6,174
佐賀県豪雨災害義援金	65,511
台風19号災害義援金(千葉県)	219,182
台風19号災害義援金(長野県)	20,000
台風19号災害義援金(茨城県)	10,000
台風19号災害義援金(栃木県)	11,000
台風19号災害義援金(中央共同募金会)	941,745
京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金	5,031
合 計	1,296,876

7 顕彰事業

令和元年度県民総合福祉大会(9月18日、鳥取市・とりぎん文化会館)の席上で県共同募金会長並びに県知事から表彰状を贈呈した。

(1) 県共同募金会会長表彰

奉仕功労者(5名)

黒田耕氏、松本幸永氏、松田昇平氏、眞山繁実氏、八木橋伸一氏(以上、境港市)

優良地区・団体(3団体)

県立倉吉西高等学校、倉吉市手をつなぐ育成会、倉吉保護区保護司会倉吉市分区
(以上倉吉市)

(2) 県知事表彰

共同募金運動奉仕功労

成徳地区民生児童委員協議会(倉吉市)

8 民間資金助成事業への協力

(1) (公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦

交付枠・助成件数 573万円・3件以上

【推薦・助成決定】

(単位：千円)

法人・施設名	内 容	推薦額	助成額
(福) 光徳子供学園 光徳子供学園	多目的棟備品購入	680	680
(福) やず すこやか	車両の購入	1,010	1,010
(福) 和 ボン・チャンス	福祉車両の購入	1,070	1,070
(福) 麗明会 小規模多機能ホームばんだの里	福祉車両の購入	980	980
(特非) ひだまり ひだまり	福祉有償運送車両の購入	1,000	1,000
(特非) 山陰福祉の会 さんふく	保冷車の購入	990	990
計		5,730	5,730

9 調査研究の実施

「共同募金推進検討委員会」(仮称)を設置し、運動内容の統計化と現状分析などを行うこととしていたが実施できなかつたため、引き続き設置・検討に向け努力する。

